

# 針ヶ谷歩道橋 撤去・信号設置は令和6年3月までに完了！

地元4自治会（針ヶ谷一丁目自治会、針ヶ谷一丁目天神会、針ヶ谷二丁目自治協力会、針ヶ谷三丁目自治協力会）からご要望のあった、針ヶ谷歩道橋の撤去と信号設置の工事が始まる。小柳よしふみは、市長への要望書の提出に立ち会い、実現に向けて取り組んできた。歩道橋の撤去工事は、12月下旬から始まり、1月4日からは使用不可となる。また、1月26日、27日（予備日28日）夜間は、中山道を含む当該交差点付近が通行止めとなる。特に、近隣の皆さまは、配布される工事予定表をご確認願います。年明けから3月いっぱいまでは、通学路の迂回など通行にご不便となります。ご協力のほど宜しくお願いいたします。



## 小柳よしふみ 地域活動



ごみゼロ運動に参加  
清掃事業であり、コミュニティ醸成やまちの点検活動にもなっている



さいたま  
Organic City Fes.  
有機農業者の取り組みを本市農業全体の活性化につなげたい



十二日まちは大賑わい  
地元ボランティアの皆さんと巡回のお手伝い



防災アドバイザーとして  
避難所運営訓練に  
各地の避難所運営訓練の講師役として参加



見沼田んぼの保全活動事業  
小学生との稻作を浦和東ロータリークラブの活動で行い、収穫した米を炊く



大正大学にてゲスト講師  
公共政策を学ぶ学生たちへの講義。  
テーマは、「見沼田んぼ」、「観光」

ご意見・ご要望をお聞かせください

お名前	TEL
ご住所	



市政へのご要望・ご質問は  
**小柳よしふみ**事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F  
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233  
『後援会イベントでハイ、チーズ！』

E-mail: info@koyanagi.jp  
ホームページ: http://koyanagi.jp/  
ブログ: http://ameblo.jp/y-koyanagi/



# こやなぎ 小柳よしふみ

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233  
E-mail: info@koyanagi.jp ホームページ: http://koyanagi.jp/ ブログ: http://ameblo.jp/y-koyanagi/

検索

## 幸せな日常を実感できる 2024年に！

最良のコミュニケーションで  
最良のまちづくりを

皆さまにおかれましては、新たな気持ちで新年をお迎えのことと思います。

1人ひとりが最高の日常を実感できるさいたま市であるよう、本年も取り組んでまいります。

政治資金の問題が報道されるなど、政治不信が続いている本市でも、街路灯のLED化事業に端を発した不適切な事案は、18件にもなりました。信頼回復のためには、原点回帰した再出発が求められます。そのためには、市民との信頼構築のための誠実な対話が必要です。私は、過度に迎合したり、ポピュリズムに走ることなく、真摯なコミュニケーションを心掛けていきたいと考えております。最良のコミュニケーションが最良のまちづくりに繋がります。各定例会後に発行してきたレポートの作成や、この度50回目を迎える市政報告会は、本年も継続してまいります。

さて、小柳よしふみは、誰もが幸せを実感できる社会の実現のために取り組んでおります。文教地区といわれて久しい浦和の教育、子育て環境の充実は、まちの発展にも寄与するものです。放課後児童クラブの指導員確保支援や奨学金の改善など、これまで提案してきたものが形になってまいりました。また、市民の移動の足の確保は、重要な政策課題として継続的に取り組んでいきたいと考えています。さいたま市民の幸せを最高に考える活動を、さらに加速してまいります。小柳よしふみの活動にご期待いただきますよう、本年も宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルスの感染拡大は続いている、インフルエンザも流行しているようです。皆さまにおかれましては、どうかご自愛いただき、元気で過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 平成27年(2期目)、平成31年(3期目)、令和5年(4期目)浦和区にて当選。
- 文教委員会、市庁舎等整備検討特別委員会、超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会、政策条例検討PT(会長職務代理者)
- 地域政党さいたま未来プロジェクト代表。



議会ごとに市政レポート発行(vol.58)  
市政報告会開催(49回)継続中！

### TOPICS

#### 1 さいたま市の 人口は134.5万人に

本市の人口は、1,344,875人(12月1日現在)で、前年同月比+5,500人となった。全国20政令市中9番目の規模。区別では、南区の194,319人が最大で、浦和区は169,459人で10区中2番目。



#### 3 放課後児童クラブの 合同就職説明会を初開催

課題である放課後児童クラブの職員確保のために、市が主催する合同就職説明会が初めて開催される。個々のクラブでは、採用どころか募集の告知にも苦労していたが、市が主体となつた取り組みで支援をする。1月27日(土)13時半より、浦和コミセン第15集会室。詳細は専用サイトをご参照ください。



#### 2 さいたま市二十歳の集いは 1月8日(月・祝)開催

成年年齢が18歳に引き下げられてからは、成人式から名称を変更し、対象者は20歳の方として開催されている。参加者は前日7日までに事前登録が必要(案内状に記載のIDが必要)。申し込みやIDの問い合わせなど詳細は、専用サイトへ。会場はさいたまスーパーアリーナで、12時開場予定。



#### 4 2024年はヌウ年！ HAPPY NU YEARキャンペーン

本市PRキャラクターの「つなが竜ヌウ」が干支である「竜」をモチーフとしたキャラクターであることにちなんだもの。特設サイト「ヌウの部屋」を12月20日(水)にオープンして、様々なコンテンツを楽しんでいただく企画。



## 12月定例会より

12月定例会は、議案87件、請願7件を審査し、また小柳は、所属する文教委員会で議案外質問を行った。本定例会には、市特別職報酬等審議会からの答申を踏まえ、市長等特別職、議員の期末手当を年間支給月額0.1ヶ月、月額報酬を引き上げる議案が提出され、市長等特別職に関しては、給与月額を据え置く特例を定める条例が提出された。一般職の給与の引き上げの議案も審査された。すべての議案が採択されている。また、公衆街路灯LED化事業において、債務負担行為の設定を忘れて違法状態となっていた件についての再発防止策が示された。合わせて、適正化のために今回調査で発覚した他の業務も含めた債務負担行為の再設定をする等の補正予算が可決された。



**補正予算(追加補正含む)より 総額 24,886,539千円**

### 1) 子ども・子育てを支える都市の実現

●民設放課後児童クラブの新規8施設の追加整備費	24,417千円
●子育て支援医療費助成の追加等 (0歳から中学卒業までの子どもの入通院の医療費の助成)	1,368,283千円
●産後ケア事業費の追加	13,199千円
2) 住民税非課税世帯の物価高負担軽減	(1世帯7万円給付) 9,636,695千円
3) 住民税均等割のみ課税世帯の物価高負担軽減	(1世帯10万円給付) 1,433,766千円
4) 低所得の子育て世帯への給付事業	(児童1人5万円支給) 1,114,401千円
5) 沼影プール代替地の候補地検討	[債務負担行為の設定]限度額 26,950千円
6) 公衆街路灯LED化事業他、 契約適正化のための債務負担行為の再設定	[債務負担行為の設定]限度額 154,281千円
7) 省エネ性能家電への買換え購入費の一部補助	1,470,000千円
●その他、医療的ケア児受入れ保育園の備品購入補助、物価高騰に対する工事予算の増額、アーバンスポーツをする場所の修繕・設計などを内容とする。	

\*債務負担行為の設定とは…通常は単年度予算で事業が行われる例外で、複数年にわたる事業における支払い限度額を決めて進めること。

### 順天堂大学病院 令和9年11月開業めざす

浦和美園地区に予定されている順天堂大学病院は、令和9年11月開業目標とする病院整備計画により進行中。現在、令和7年4月からの着工に向けて、実施設計が行われている。埼玉県が主体の事業であるが、本市としても関係所管の連携調整など、積極的に協力をしてきた。市民にとっても医療面の充実と安心は大きなものとなる。今後は、地域貢献や市政との連携をどうするのかといった点を考慮し、市所有地の貸し付け条件等を具体化していく。また、近接するさいたま市立病院の今後の経営や、両病院の有益な連携についても検討していく必要がある。



### 医療費 高校生まで無償化へ

現在は、0歳から中学校卒業までの子どもの医療費の一部負担金(保険診療の自己負担分)への助成により、実質的に無償化を行っている。この度、令和6年度から高校生までの医療費無償化に向けて、自主財源の確保や制度設計など準備検討を始めた。令和6年度から事業化される見込みとなった。なお、埼玉県は、現行の補助制度においては未就学児までとなっているのを、通院は小学3年生まで、入院は中学3年生までに補助対象を拡大する方針を示しているが、さいたま市は先行している形となる。



## 文教委員会から

小柳よしみは、誰もが普通に学べる環境、社会づくりをテーマに「奨学金の問題」、「ケアラー支援条例制定後のヤングケアラー支援の現状」等について、議案外質問を行った。



### 1 給付型奨学金制度の導入を検討中

**Q** 奨学金の負担軽減のための支援制度を本市においても検討中であるが、検討状況と今後の方針を問う。

**A** 現在は奨学金、入学準備金の貸付制度を行っている。それに加え、クラウドファンディングなど民間資金を活用した新たな給付型の奨学金の制度を検討している。所得制限や学習状況の反映、継続性のある仕組み等の詳細を決定し、令和6年度中に募集開始、令和7年度から支給開始できるように準備をしている。



日本学生支援機構の調査によると、奨学金の利用状況は、大学(昼間部)の49.6%、平均借入額324万円、平均返済年数14.7年となっている。大学卒業時に320万円もの借金を背負い、返済完了が37歳というのが平均像となる。晩婚化や少子化の要因にもなっているのではないか。奨学金制度の改善と共に、誰もが大学進学を迫られているかのような今の社会の変化も、必要と考えている。

### 2 ケアラー支援条例制定後の効果について

**Q** 令和4年4月にケアラー支援条例が施行されたが、学校現場におけるヤングケアラーに対する対応、支援に関する状況を問う。

**A** 学校は、関係機関と連携する等、組織として支援を行っている。ヤングケアラーに関する研修を、主に教職員やスクールカウンセラーなどの専門職を対象に行っている。児童生徒との信頼関係構築に努め、普段の面談などからもヤングケアラーの早期発見ができるよう周知、研修を継続していかたい。



条例は、制定した後の成果検証が重要と考える。ヤングケアラーは社会問題となっているが、家庭訪問も行いにくいなか、家庭内の状況を見抜くことは難しくなっている。子どもたちが相談しやすい環境づくりや、教職員の子どもの異変を察知する力を養うとともに、校長など管理職の理解促進も重要と考える。

\*その他、学校におけるカラーユニバーサルデザインへの対応などの質問を行いました。

### ●未来の公共交通を考える●

## 超高齢社会の不便解消!

新設された「超高齢社会に向けた公共交通の在り方検討特別委員会」に小柳よしみも参加している。乗合バス事業者の94%が赤字であり、さらに「物流の2024年問題」(ドライバーの労働時間制限により発生する諸問題)により、運転手、整備士などの不足が加速する。高齢者の免許の返納が進められる中、委員会での専門家の説明では本市での自動運転の実用化にはまだ時間がかかること。今後はバス事業者への支援やコミュニティバス事業の規定の見直し、タクシーの活用・協力の促進、デマンド交通の導入、LRTなど新たな交通手段の導入など、検討事項は山積している。先進事例も参考にし、スピード感を持った取組みが必要である。また、地域での助け合いの仕組みの構築や行けないから来てもらうといった(例えば、移動スーパーマーケットや移動図書館など)発想の転換で、市民の不便を解消する取り組みも必要と考える。

### ●条例素案に対する市民意見を募集●

## 安心してインターネットが使える社会を目指す条例!

インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援等に関する条例(通称:ネット安心条例)の議論を進めている。有名人の誹謗中傷の被害事例や、本市生徒がトラブルに巻き込まれる事案も発生している。現代社会に不可欠な社会インフラとも言えるインターネット上のトラブルなどの駆け込み寺となるような機能が必要となっている。

小柳よしみが会長職務代理者を務める政策条例検討プロジェクトチームでは、学識経験者、児童生徒、教職員、相談窓口の事業者など、様々な調査を重ねて条例の素案を作成し、市民意見を伺う通称パブコメを実施している。ぜひ、ご意見をお寄せください。条例案作成にあたっては、皆さまからのご意見や、今後協力して取り組むことになる埼玉県との連携調整も大事にしながら進めていきたい。

